

最 近 の 主 な 産 業 施 設 の 事 故 事 例 (平成15年中)

発 生	事故発生場所	死傷者	事 故 概 要 等	消防活動の概要
○事故発生 9月26日 4時52分 (消防覚知)	北海道苫小牧市 出光興産(株) 北海道製油所	無	平成15年十勝沖地震(苫小牧の震度:5弱)の直後、出光興産北海道製油所の原油貯蔵タンク(約3万3千キロリットル)及び付属配管で火災が発生。 <u>(鎮火:9月26日12時09分)</u>	苫小牧市消防本部、胆振東部消防組合消防本部、札幌市消防局のほか、石油備蓄基地共同防災隊等の消防車両で泡消火薬剤等による消火活動を実施した。
○事故発生 9月28日 10時46分 (消防覚知)		無	地震発生から約54時間後に、ナフサ貯蔵タンク(約3万3千キロリットル)で全面火災が発生。 <u>(鎮火:9月30日 6時55分)</u>	苫小牧市消防本部、緊急消防援助隊及び道内の消防広域応援隊が出動し、自衛隊の応援等により搬送された泡消火薬剤等により、消火活動を実施した。
			2基の発災タンク以外のタンクにおいても、多数の損傷が発生。	二次災害防止活動のため、消防庁緊急チームを派遣し技術指導を行ったほか、緊急消防援助隊による警戒活動を実施した。 泡消火薬剤の確保(全国自治体・在日米軍への要請、自衛隊との輸送調整)を行った。
○事故発生 9月8日 12時00分 (消防覚知)	栃木県黒磯市 (株)ブリヂストン 栃木工場	無	バンバリー工場(タイヤ原料のゴム平板を製造)の精錬ミキサー3号機付近から出火し、当該工場(延面積40,885m ²)を全焼。 出荷予定のため屋外に保管していた乗用車用スタッドレスタイヤ約16万5千本を焼失した。 消火活動に約2日間を要するとともに、付近住民1,708世帯、5,032名に避難指示が出された。 <u>(鎮火:9月10日 10時30分)</u>	黒磯那須消防組合消防本部、消防広域応援隊(栃木県内14消防本部、福島県内1消防本部)、地元消防団などが泡消火薬剤等による消火活動などを実施した。 併せて緊急消防援助隊が派遣され、消火活動を行った。

発 生	事故発生場所	死傷者	事 故 概 要 等	消防活動の概要
○事故発生 9月3日 19時45分 (消防覚知)	愛知県東海市東海町 新日本製鐵(株) 名古屋製鐵所	負傷者 15名	新日本製鐵(株)名古屋製鐵所内にある約4万立方メートルの燃料用ガスのガスホルダー1基(高さ約50メートル、直径約35メートル)が爆発、炎上。 事業所内の従業員が負傷し、周辺の民家においても、窓ガラスが割れるなどの被害が出た。 <u>(鎮火：9月4日3時26分)</u>	東海市消防本部、知多市消防本部、大府市消防本部、名古屋市消防局等の県内消防広域応援隊により、タンク外壁に対して冷却放水を中心とした消火活動を実施した。
○事故発生 8月29日 15時40分 (消防覚知)	愛知県名古屋市港区潮見町 エクソンモービル(有) 名古屋油槽所	死者 6名 負傷者 1名	エクソンモービル名古屋油槽所のガソリントank付近から出火した。 (タンクは改造工事中であり、貯蔵していたガソリンは既に抜き取られていたが、出火当時はタンク下部の廃油をタンクローリーに移す作業をしていた。) <u>(鎮火：8月29日19時20分)</u>	名古屋市消防局の消防車両57台が出動し泡消火薬剤等による消火活動を実施した。
○事故発生 8月14日 4時45分 (消防覚知) ()	三重県多度町力尾 三重ごみ固形燃料(RDF) 発電所	死者 2名 負傷者 1名	8月19日14時17分頃、RDF貯蔵槽が爆発し、屋根の上で消火活動を行っていた桑名市消防本部の消防職員2名が屋根ごと吹き飛ばされた。 屋根は約200メートル先に吹き飛び、発電所管理棟等の建物も損壊した。 <u>(鎮火：9月27日14時00分)</u> 同施設において、8月14日に作業員4名の負傷を伴う火災が発生。その後、消防本部が継続的に消火・冷却作業を行っていた。	桑名市消防本部、県内消防広域応援隊及び緊急消防援助隊が、RDF貯蔵槽上部から貯蔵槽内に直接放水の実施及び貯蔵槽下部の放水の実施による消火と併せて貯蔵槽からRDFの取り出しを実施した。
○事故発生 7月11日 13時10分 (消防覚知)	福岡県北九州市戸畑区 新日本製鐵(株) 八幡製鐵所	死者 1名 負傷者 2名	台車付き溶鋼鍋(150トン入り)をクレーンで吊り上げ、計量機に降ろす作業中、溶鋼鍋が横倒しとなったため、N鋼製鋼工場内に銑鉄が流出し、工場の壁面10平方メートルを焼損。 <u>(鎮火：7月11日15時00分)</u>	北九州市消防局が特殊化学消防隊(三点セット)及びタンク小隊2隊で、冷却放水を中心とした消火活動を実施した。